

対策2：「あんしんできる避難所」

- ・避難所には、色々な人が来る
(お年寄り、障がい者、妊婦さん、外国人、認知症など病気の人、ペット連れ…)
- ・支援や配慮が必要な人に、どう対応する？
- ・あんしんできる避難所とは

千葉県流山市の状況

ファミリー向け大型マンション続々と建設

子育て世代が転入

その多くが都内へ通勤

共働き世帯の増加

利便性から転勤族も多い



子育て世帯の大量流入 2023年 1月現在 約20万人

身近に知り合いや頼る人のいない、孤独な子育て世帯が増加



2011 / 03

東日本大震災発生

阪神大震災で経験した女性たちの困難や教訓が全く生かされていない避難所を目の当たりにした元千葉県知事堂本暁子さん

2011 / 12

全国の女性・市民団体に呼び掛け 男女共同参画と災害・復興ネットワークを設立

パートナーシップながれやま前代表理事
現流山防災まちづくりプロジェクト事務局 山口文代氏も参画

受け継がれてきた
男女共同参画の歴史

2018

パートナーシップながれやま主催 女性防災リーダー養成講座が開講

2019

流山防災まちづくりプロジェクト誕生

2022

東部中学校で避難所開設訓練実施

流山防災まちづくり プロジェクトの活動紹介

設立：2019年

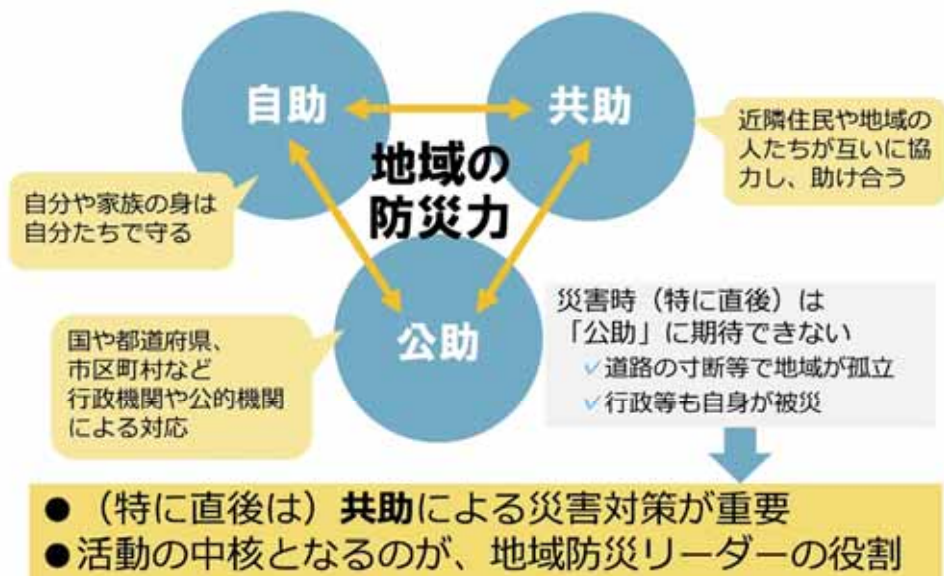


女性防災リーダーの皆さん



簡易トイレの説明をする中学生

地域の防災力と自助・共助・公助



出典：内閣府地域防災リーダー入門テキストスライド10

避難所は生活の場です

私たちが目指す避難所運営とは

「誰も取り残さない」避難所をつくっていくこと

自分とは違う誰かを思いやり、理解して行動ができるようになる。

多様な視点を持ち、「自分ごと」と捉える意識を持ちながら進めていく。



みんなが安心して過ごすことができる



あなたの地域にはどんな人たちが住んでいますか？

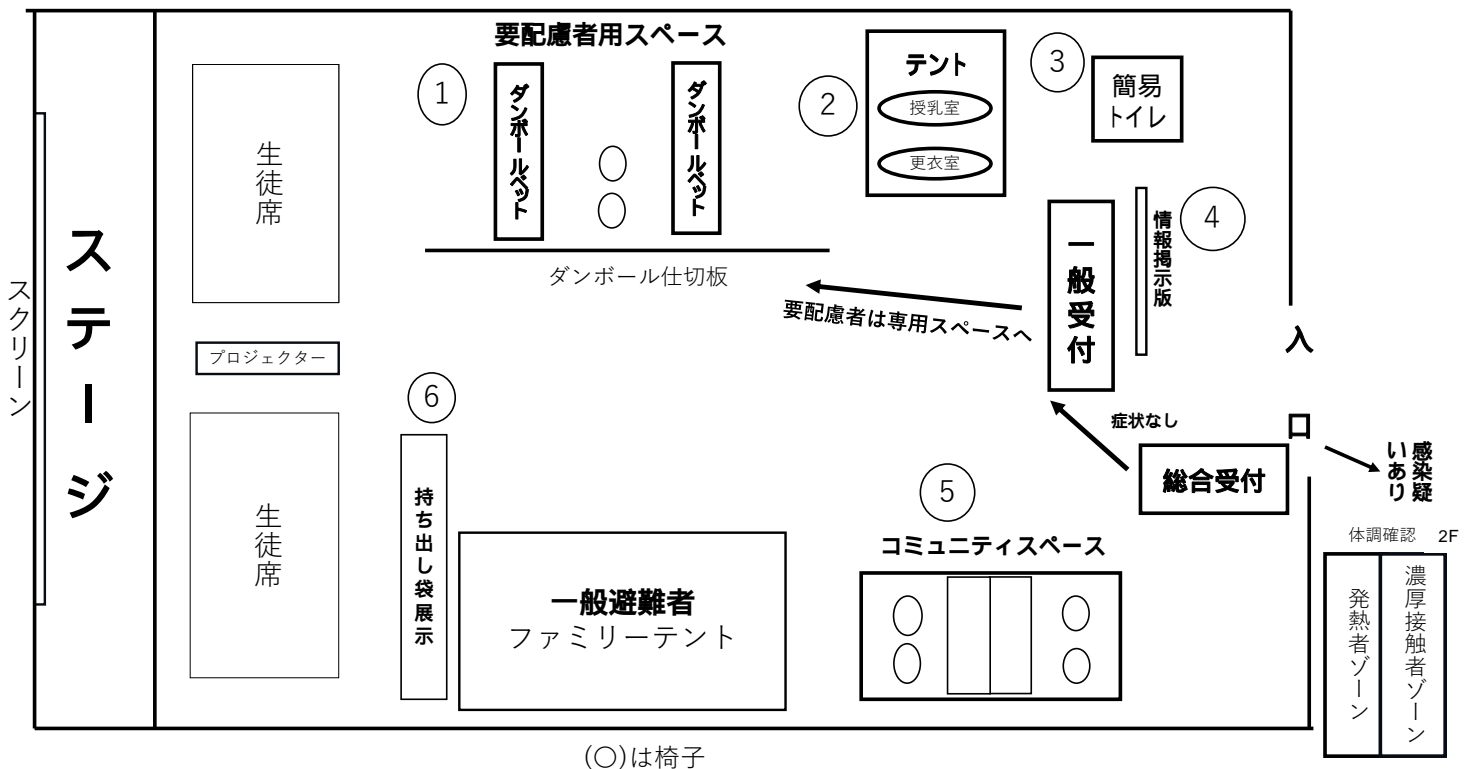
中学生と一緒に進む避難所開設訓練

目標：市内の全中学校で展開したい
将来の地域防災の担い手を育成

～地域住民とともに地域を支える一員に～
人権や命の大切さ、考える力、判断し行動する力を身に付ける
地域のために役立つ力を持っていることを知り、
地域への関心、愛着心が生まれる
お互いを尊重し、認め合うことの大切さを知る

東部中学校避難所開設訓練用レイアウト図

2023.6.21実施予定







私たちは地域の防災リーダー

- 災害時の「考える力」「判断し行動する力」「生き抜く力」を身につける
- 性別にとらわれず、一人ひとりが認め合い、チカラを活かしあう事が災害リスクの軽減につながることを理解する
- 将来どこにいても、地域の防災リーダーとして活躍できる人材の育成と、災害に強い地域づくりを目指す

～助けられる人から助ける人へ、地域を支える一員に～

あなたは何かができる？